

岩手県感染症週報

平成24年第45週(11月5日～11月11日)

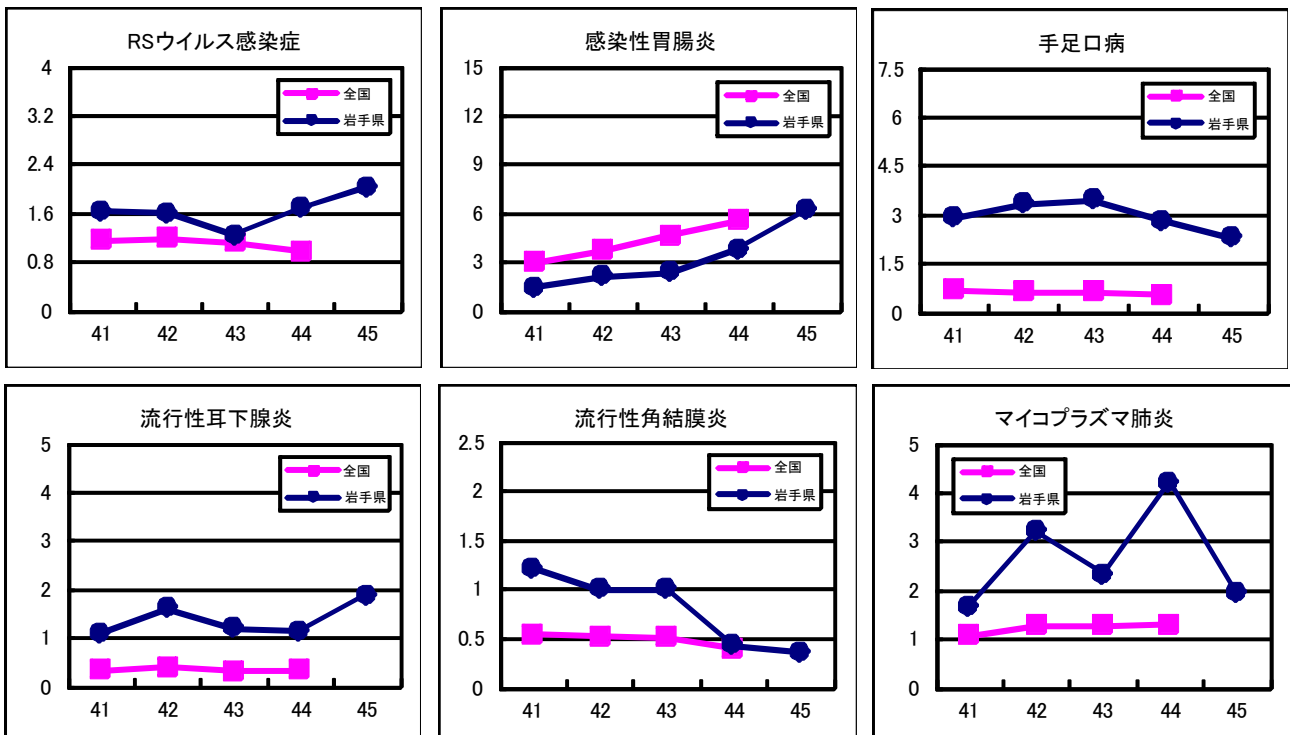
岩手県感染症情報センター

第45週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が6例（潜在性結核感染症例2例）ありました。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例ありました。今年の報告総数は107例です。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の報告が大船渡地区より1例ありました。患者は60歳代の男性です。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・急性脳炎の報告が1例ありました。患者は3歳の女性です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・感染性胃腸炎は、4週連続して増加しました。11月に入ってから保育園でのノロウイルスによる集団感染事例が発生しており、冬の流行に向って増加が始まっています。地区別では、中部、奥州および久慈地区で定点あたり患者数10人を超えています。予防には、石けんと流水による十分な手洗いと患者の汚物の適切な処理が重要です。
 - ・RSウイルス感染症は、二戸地区で急増したほか、盛岡市および中部地区で多くなっています。患者のほとんどが2歳以下で、乳幼児は細気管支炎や肺炎などを併発し、呼吸困難を呈することがあるので注意が必要です。
 - ・手足口病は、一関地区で4週連続して警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。
 - ・流行性耳下腺炎は、宮古および二戸地区で警報値（同6人）を、大船渡地区で注意報値（同3人）を超えています。患者の年齢は、4、5歳が多くなっています。
 - ・インフルエンザは、流行開始前にワクチン接種を受けることが勧められます。ワクチン接種を希望される方は医療機関にお問い合わせ下さい。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		41	42	43	44	45		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.06	0.05	0.06	0.07			
RSウイルス感染症	岩手県	1.63	1.6	1.23	1.68	2.03	↗	☆
	全国	1.16	1.19	1.13	0.98			
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.08	0.15	0.1	0.25	→	☆
	全国	0.15	0.18	0.2	0.19			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.75	0.6	0.7	0.73	1.58	→	☆
	全国	0.87	1.13	1.22	1.23			
感染性胃腸炎	岩手県	1.43	2.15	2.38	3.78	6.15	↗	☆
	全国	2.97	3.74	4.64	5.58			
水痘	岩手県	0.6	0.95	0.78	1.05	1.7	→	☆
	全国	0.53	0.5	0.72	0.79			
手足口病	岩手県	2.9	3.33	3.45	2.8	2.28	→	☆☆
	全国	0.69	0.64	0.63	0.55			
伝染性紅斑	岩手県	0.23	0.2	0.08	0.28	0.23	→	☆
	全国	0.04	0.04	0.04	0.04			
突発性発疹	岩手県	0.28	0.35	0.4	0.38	0.65	→	☆
	全国	0.54	0.59	0.61	0.54			
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02			
ヘルパンギーナ	岩手県	0.4	0.23	0.08	0.25	0.1	→	☆
	全国	0.22	0.15	0.13	0.1			
流行性耳下腺炎	岩手県	1.1	1.6	1.2	1.13	1.88	→	☆☆
	全国	0.33	0.4	0.32	0.34			
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0			
流行性角結膜炎	岩手県	1.21	1	1	0.43	0.36	↘	☆
	全国	0.54	0.52	0.51	0.4			
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.01			
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	☆
	全国	0.02	0.03	0.03	0.04			
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.68	3.21	2.32	4.21	1.95	↘	☆
	全国	1.08	1.28	1.28	1.31			
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.03	0.05	0.05			

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ☆：患者が発生しています
- ☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					累計	全国	
	41	42	43	44	45	44		累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核（ ）内は潜在性結核感染症患者数	8 (5)	1 (0)	4 (4)	8 (1)	6 (2)	265 (122)	366	24448
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	187
	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	6	4	1	107	33	3456
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	28
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	19
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	98
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	142
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	1	12
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	つつが虫病	0	0	0	0	0	6	4	211
	デング熱	0	0	0	0	0	0	4	192
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	5	150
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	67
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	9
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	1	1	4	13	720	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	2	27	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週)	41	42	43	44	45	累計	44	累計
五類感染症	アメーバ赤痢		0	0	1	1	0	4	13	748
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）		0	0	0	0	0	1	1	187
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）		0	0	0	1	1	6	0	310
	クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	0	0	2	2	153
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	1	0	0	0	5	2	211
	後天性免疫不全症候群		1	0	1	0	0	4	17	1189
	ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	1	61
	髄膜炎菌性髄膜炎		0	0	0	0	0	0	1	11
	先天性風しん症候群		0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒		0	0	0	0	0	3	10	731
	破傷風		0	0	0	0	0	0	3	95
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	2	79
	風しん		0	0	0	0	0	1	17	1960
	麻しん		0	0	0	0	0	2	3	277

今注目の感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという小型の細菌を原因とする呼吸器感染症です。幼児期から学童期に多い肺炎ですが全年齢層で患者が認められます。感染経路は、飛沫感染、接触感染で、潜伏期間は2～3週間と長く、症状は発熱、全身倦怠、本疾患に特徴的な長く続く乾性の咳です。

治療は、マクロライド系（エリスロマイシン、クラリスロマイシン等）が第1選択薬とされてきましたが、マクロライド系抗菌薬に耐性を有する耐性株が存在し、その耐性株の割合が増加しつつあるとの報告があり注意が必要です。（参考：IASR速報 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3814.html>）

岩手県内では、昨年5月より報告数の多い状況が続いています。

マイコプラズマ肺炎の流行の推移（岩手県 2010～2012）



今注目の感染症（つづき）

感染性胃腸炎

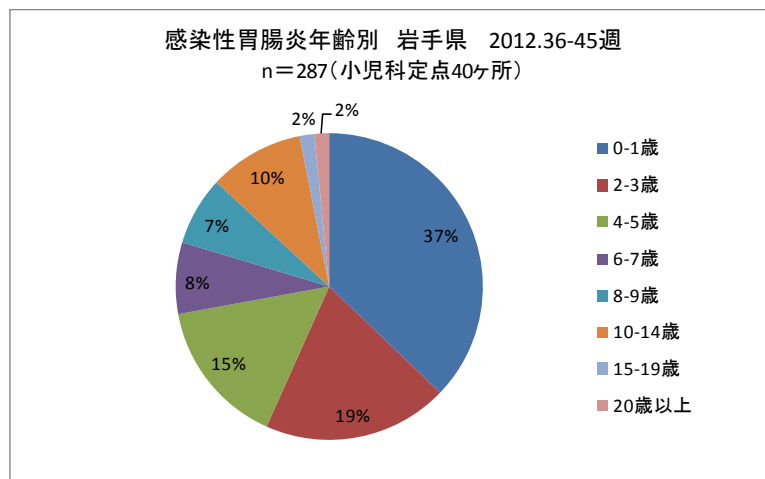
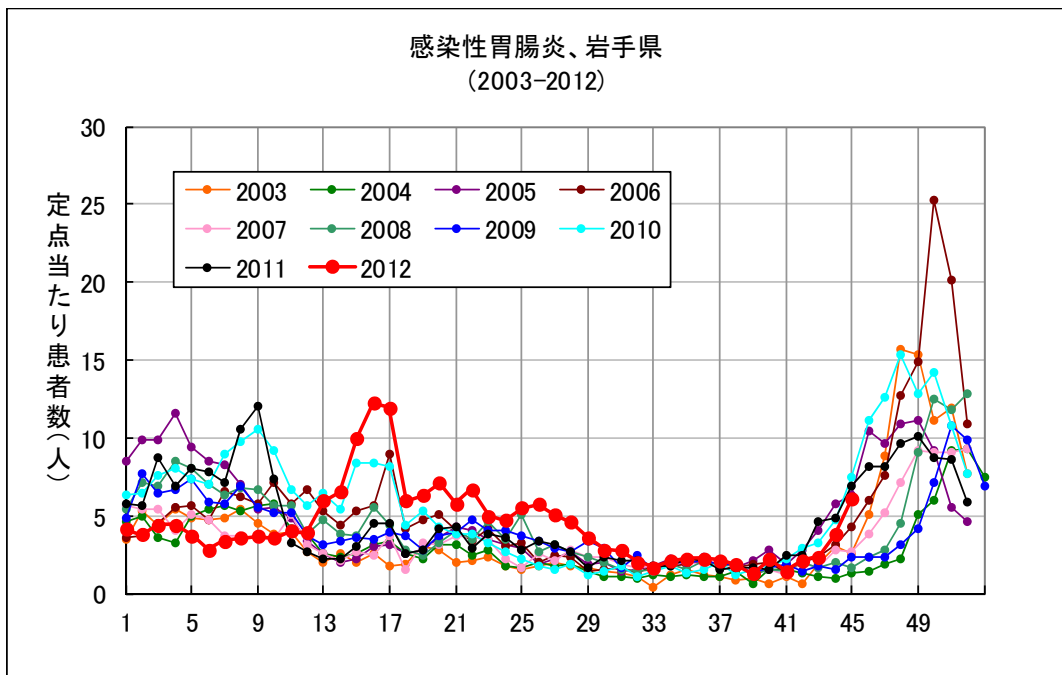
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いため、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」：<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、
「医療従事者・施設スタッフ用」：<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>



今注目の感染症 (つづき)

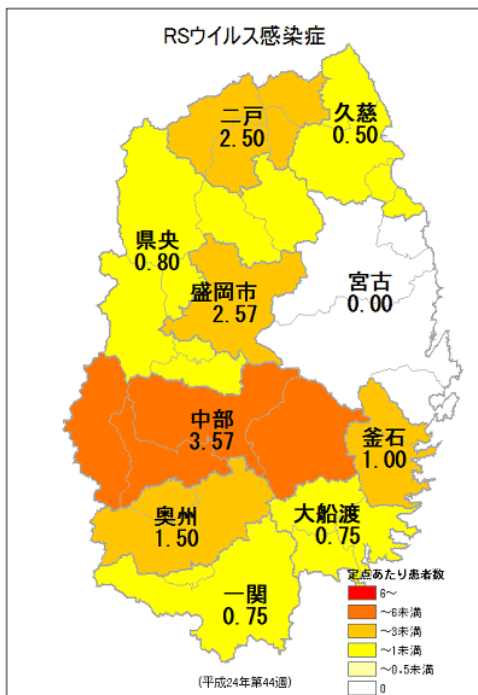
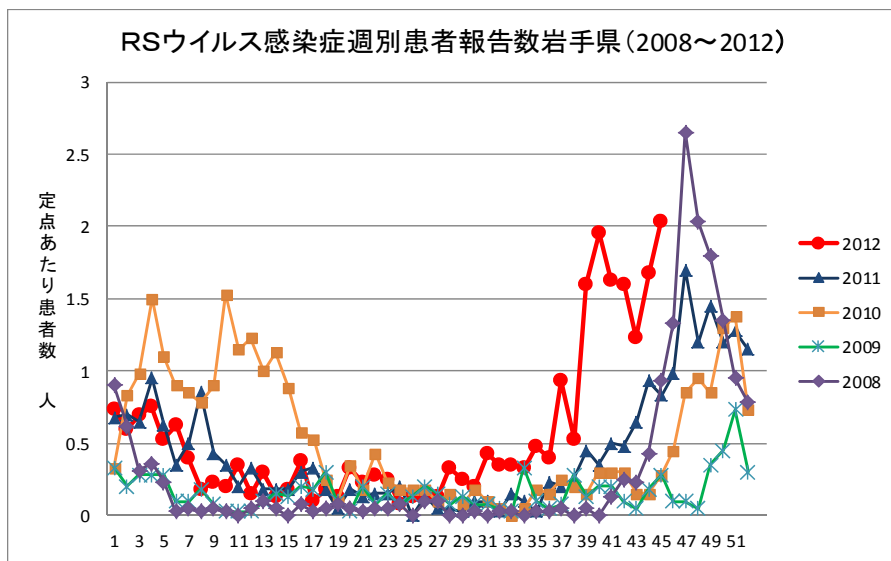
RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、冬を中心に流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。乳児の半数が生後1歳までに、ほぼ100%が2歳までに初感染を受けますが、終生免疫は獲得されず、一生の間に何度か感染を繰り返します。

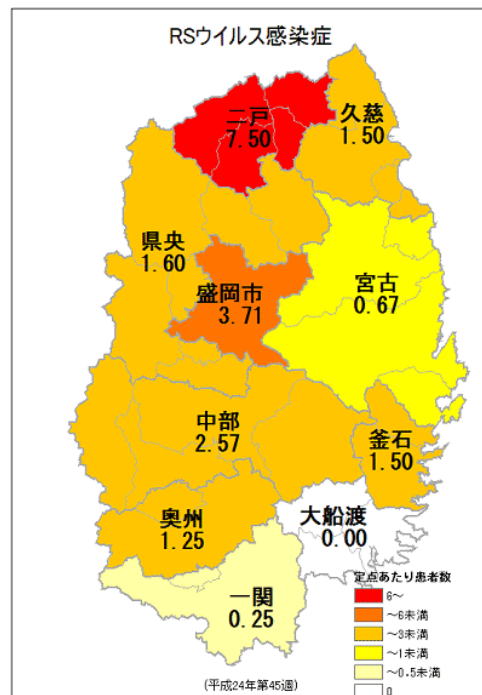
感染経路は、飛沫感染および接触感染（鼻汁や喀痰のウイルスが手指や器物を介し感染）です。年長者の再感染事例等では、典型的な症状を呈さず軽症例もあることから、家族間感染や乳幼児の集団感染に注意が必要です。

症状は、鼻水、咳、発熱が主ですが、乳児患者の10～40%が細気管支炎、肺炎などの下気道炎を起こすといわれています。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、注意が必要です。

予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。



第44週



第45週

病原体検出情報

- ・流行性耳下腺炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ムンプスウイルスを1例検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、エンテロウイルス71型を1例検出しました。
- ・百日咳の患者の咽頭ぬぐい液から、パラインフルエンザウイルス3型を1例検出しました。
- ・発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス9型を1例分離しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス56型を1例分離しました。
- ・RSウイルス感染症の患者の咽頭ぬぐい液から、RSウイルスを3例、アデノウイルス2型を1例分離しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、A群コクサッキーウイルス9型を1例分離しました。
- ・気管支炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを2例検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について（11月14日発表分）

盛岡市内の保育園（園児数178名、職員数47名）

- ・10月30日（火）から11月14日（水）にかけて31名（園児29名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢、発熱、腹痛等）
- ・有症者7名中7名からノロウイルスを確認

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

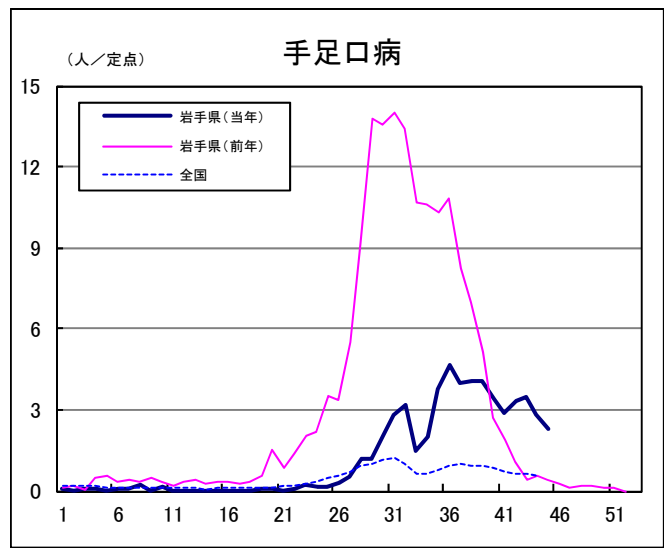
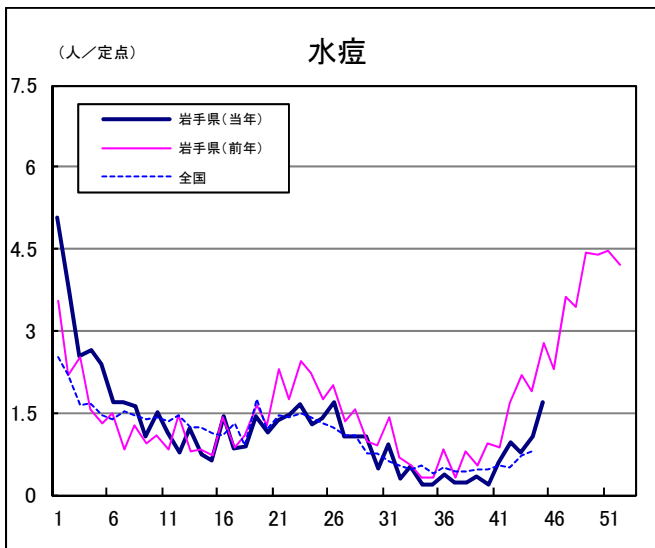
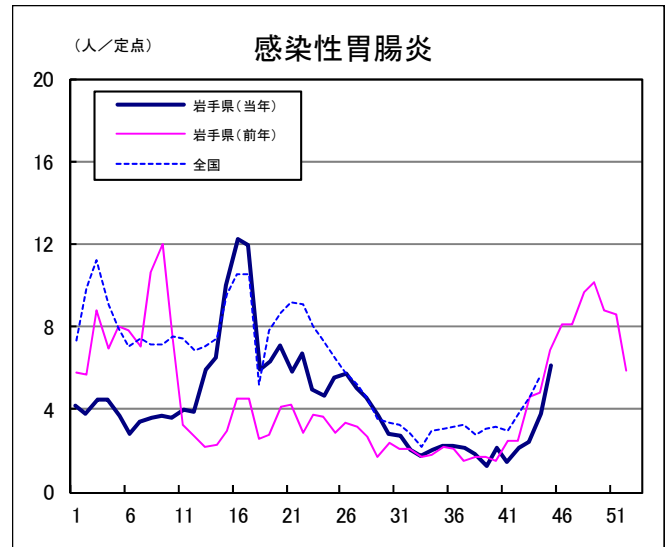
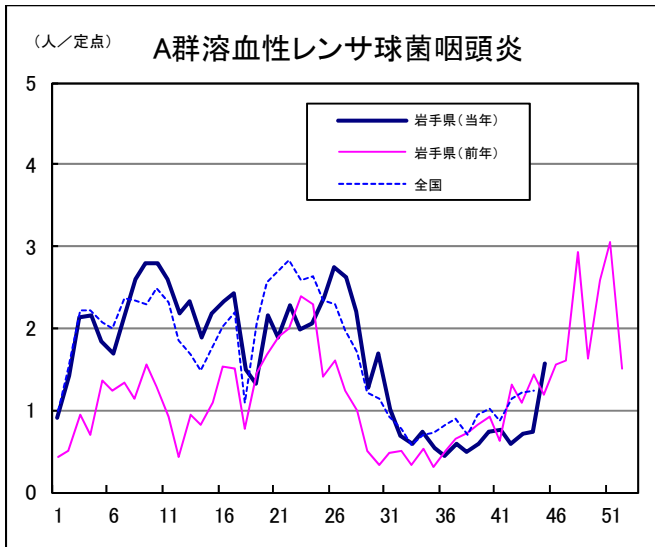
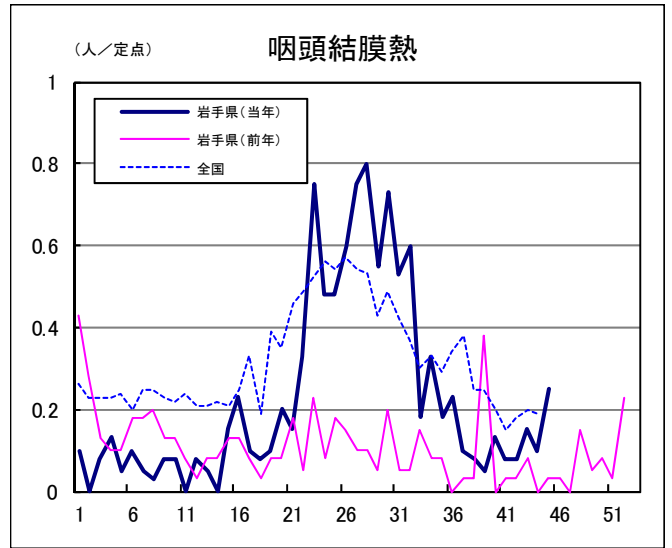
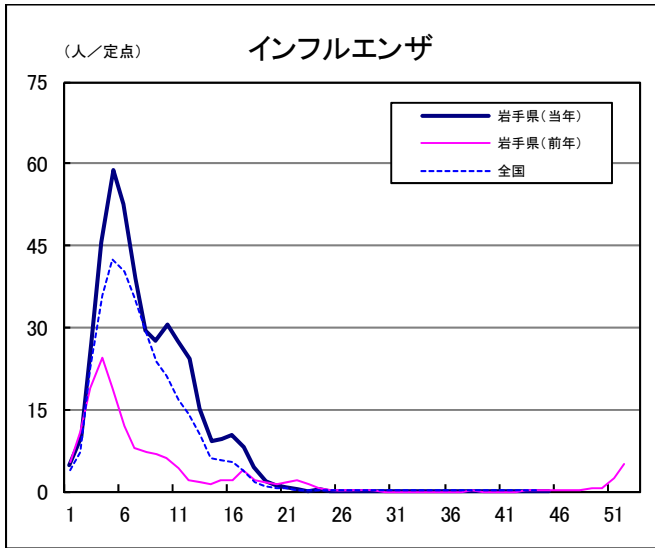
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

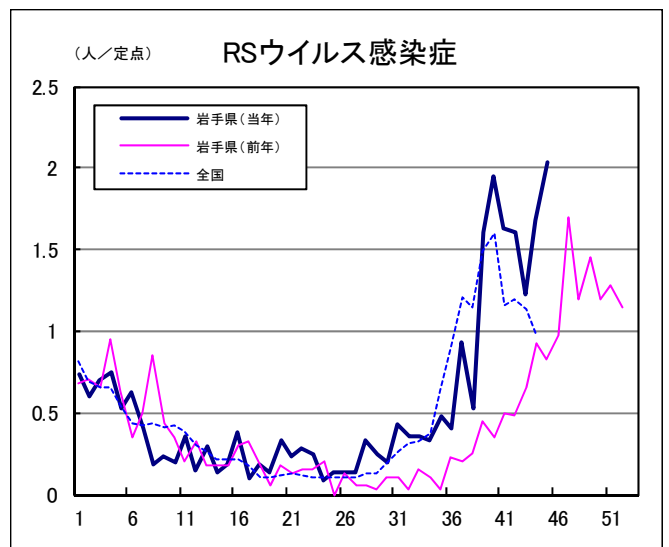
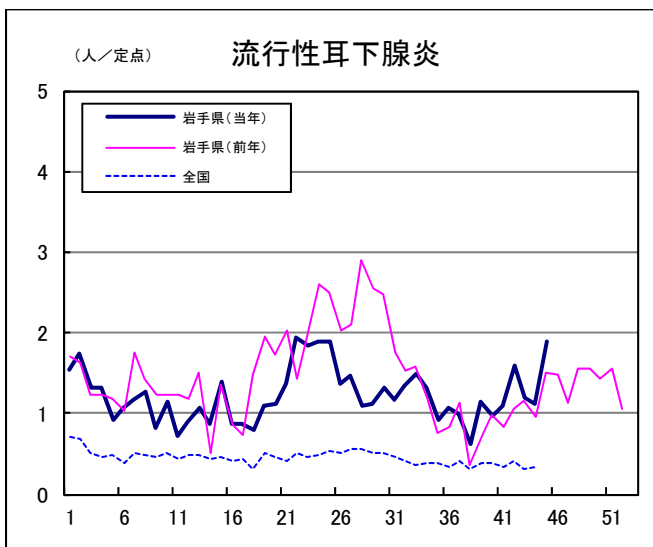
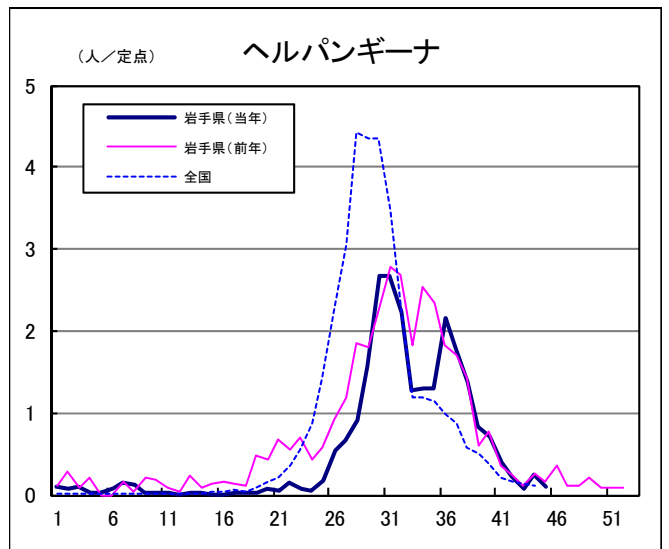
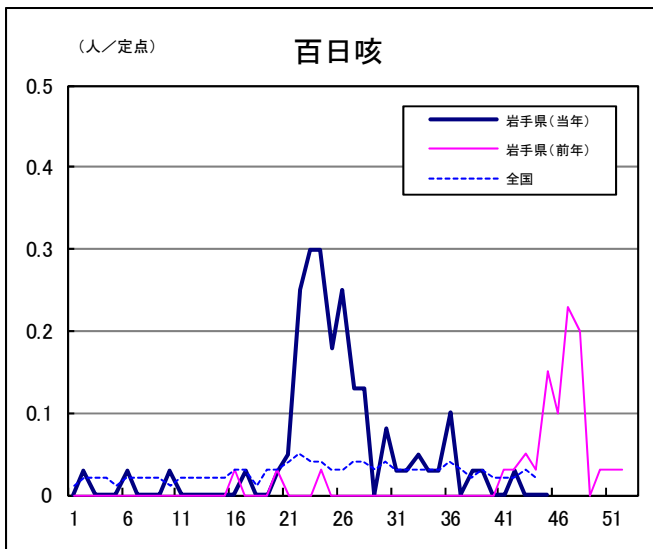
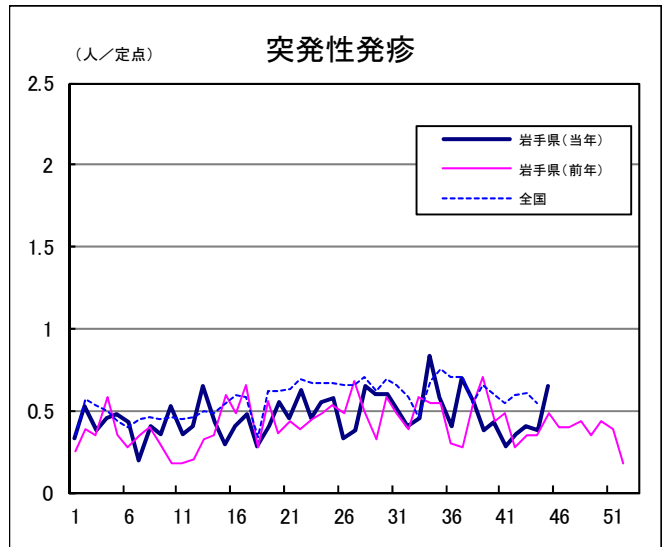
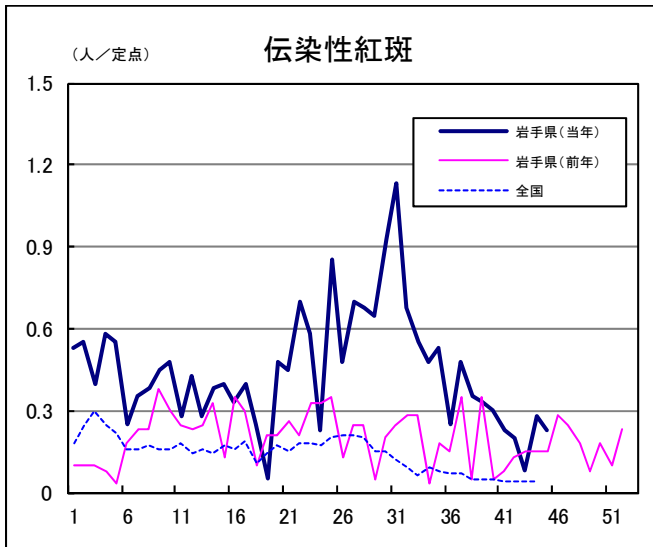
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

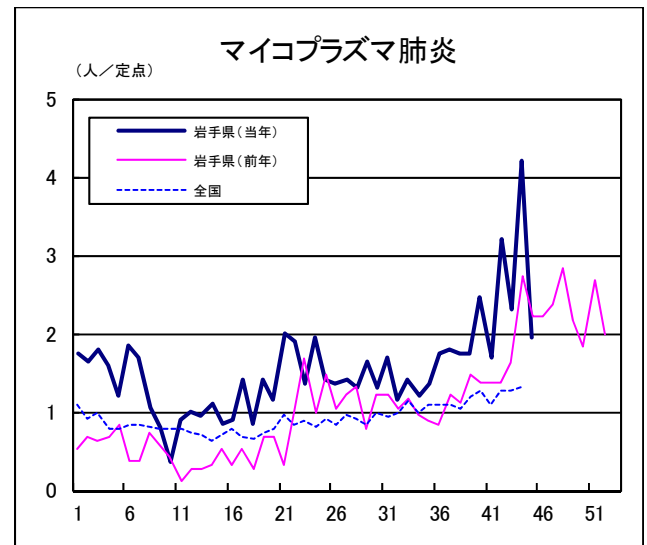
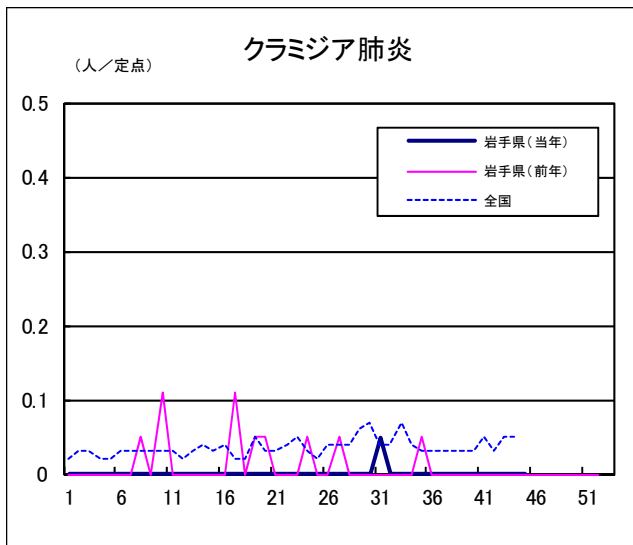
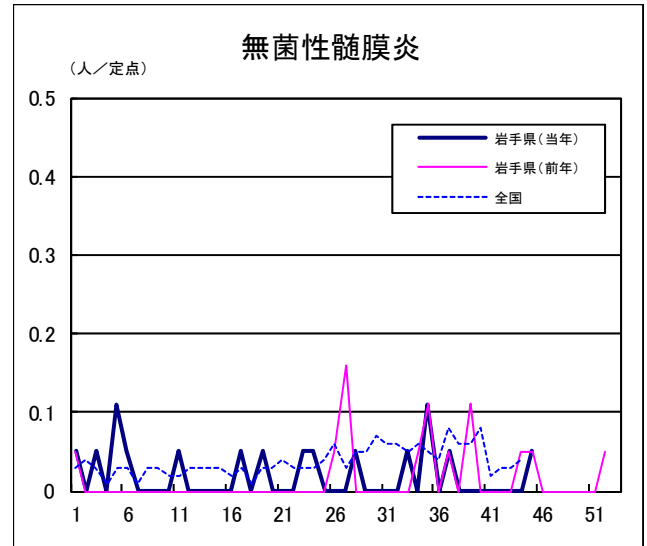
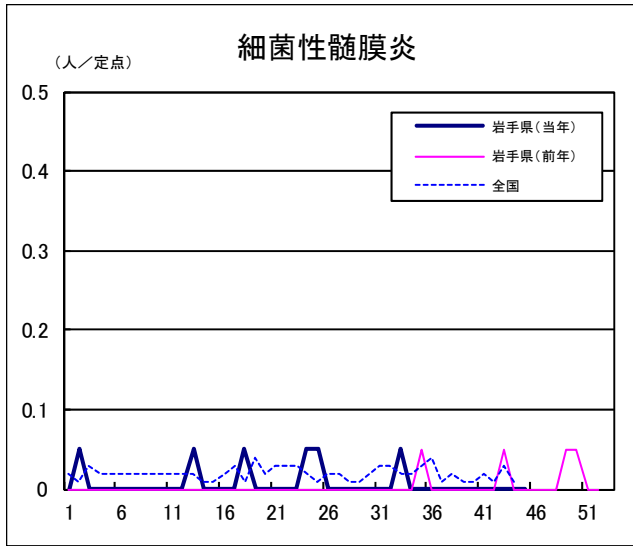
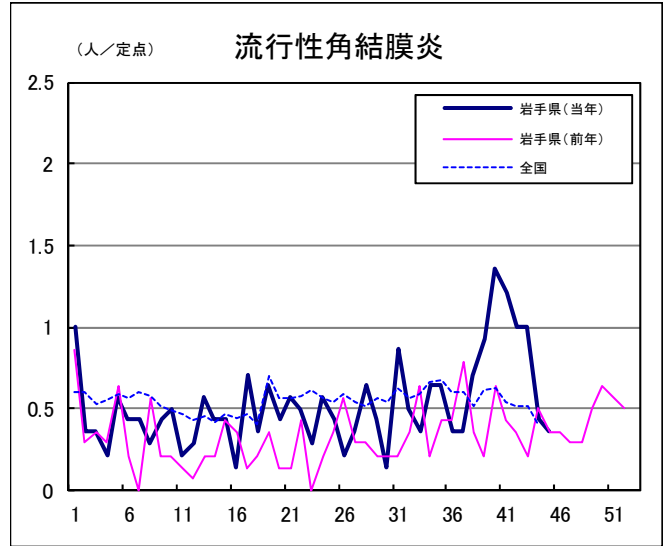
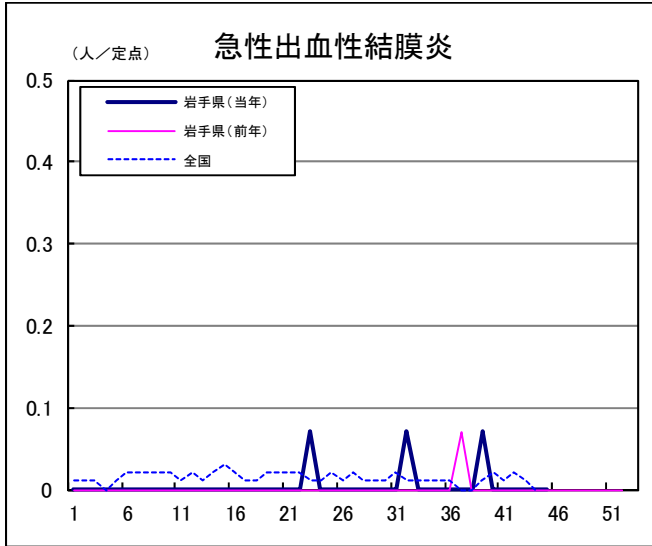
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第45週 平成24年11月16日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>